

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 915

2025年 6月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail：jcpsagamiko@gmail.com

帝國データバンクは5月30日、主要食品メーカー195社が6月に値上げする予定の飲食料品が1932品目に上ると発表しました。前年同月比約3倍で、6カ月連続のプラスです。値上げは食品だけではありません。日用品、電気代、自動車保険料など多くの分野にわたっています。こうした中で、消費税減税を求める声が広がっています。野党だけでなく、選挙を意識した与党からも減税を求める声が上がり、大きな争点となっています。消費税減税は一番の物価対策となります。

但し、減税のあり方をめぐっては各党間で大きな違いがあります。立憲民主党や日本維新の会は、期間を限定して食料品の消費税率をゼロにするよう主張しています。民主党は一時的に消費税

帝國データバンクは5月30日、主要食品メーカー195社が6月に値上げする予定の飲食料品が1932品目に上ると発表しました。前年同月比約3倍で、6カ月連続のプラスです。値上げは食品だけではありません。日用品、電気代、自動車保険料など多くの分野にわたっています。こうした中で、消費税減税を求める声が広がっています。野党だけでなく、選挙を意識した与党からも減税を求める声が上がり、大きな争点となっています。消費税減税は一番の物価対策となる

帝國データバンクは5月30日、主要食品メーカー195社が6月に値上げする予定の飲食料品が1932品目に上ると発表しました。前年同月比約3倍で、6カ月連続のプラスです。値上げは食品だけではありません。日用品、電気代、自動車保険料など多くの分野にわたっています。こうした中で、消費税減税を求める声が広がっています。野党だけでなく、選挙を意識した与党からも減税を求める声が上がり、大きな争点となっています。消費税減税は一番の物価対策となる

6月値上げの食品 1,932品目



NHK NEWS WEB より

（適格請求書）発行が

いま以上に広く押しつけられる恐れがあります。

インボイス制度で、中小・零細業者は煩雑な事務処理や新たな税負担を求められるため、廃止を求める声がすでに広く上がっています。一律5%なら複数税率も解消でき、インボイス制度の口実をなくすことができます。

広がる消費税減税の声

6月も値上げラッシュ

5%への引き下げで、平均的な労働者世帯で年間12万円の減税になります、「食料品のみゼロ」にする場合の2倍の減税額になります。

恒久的な減税から廃止を目指し、もともと低所得者ほど税の負担率が重く、応能負担原則に反する消費税をなくすことが必要です。

食料品に消費税をかけないでほしいというのは多くの国民の願いですが、「食料品税率のみゼロ」にした場合、複数税率が残るため、中小・零細業者を苦しめているインボイス（適格請求書）発行が

日本共産党は大企業と富裕層優遇のゆがんだ税制の改革に正面から取り組むことを提案しています。消費税の5%への引き下げに必要な財源は15兆円ですが、法人税、所得税などの改革で恒久的財源を生むことができます。539兆円もの内部留保をため込んだ大企業には、担税力が十分あります。

■ 試金石となる減税の財源

消費税減税を本気で実現するかどうかの試金石となる最大の争点が、国債発行に財源を求める政党もあります。しかし、毎年多額の国債を

発行しているうえに、消費税減税の財源をさらに国債で賄おうとすればインフレを招き、いま以上の物価の高騰となつて消費税減税分が消し飛びかねません。

日本共産党は大企業と富裕層優遇のゆがんだ税制の改革に正面から取り組むことを提案しています。消費税の5%への引き下げに必要な財源は15兆円ですが、法人税、所得税などの改革で恒久的財源を生むことができます。539兆円もの内部留保をため込んだ大企業には、担税力が十分あります。



自然観察シリーズ

NO. 583

植物

5月から6月頃、山地や山麓の草地でタツナミソウの仲間が見られます。

タツナミソウという名前は、花の咲いている様子が、海の波が泡立つて打ち寄

せるのを思わせるという意味があります。花の形を見て、前に突き出ている部分の模様が白く、紫色の部分とのコントラストが強く群れて咲いていると、一方に揃つて向いているので、その感じがします。

タツナミソウの仲間は、この周辺でも数種類見られ、

コバノタツナミソウとオカタツマミソウは数多く、普通に見られます。が、ヤマタツナミソウとタツナミソウは、見る機会が少ない種類です。

タツナミソウ（立浪草） (シソ科タツナミソウ属)

5月18日、共産党相模湖後援会の主催で「なんでも気楽に語り合うつどい」が開かれました。

はじめに参院選予定候補のあさか由香さんからのビデオメッセージを視聴する予定でしたが、機器接続の不手際があり、大画面で見ることができませんでした。

「つどい」ではリニア新幹線の現状報告、米の価格問題、診療所の統廃合、バス路線の縮小、空家対策など、様々なことが語られました。地区委員会を代表して中村圭さんも参加し、質問に答えていただきました。

後援会主催 なんでも気楽に語り合うつどい

